



文責 森本 聡一郎

心身の健康維持。進路目標の決定

普通であることを最低限のレベルと心得よう。

その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。

1. 「阪神・淡路大震災31年に寄せて」

明日、1月17日は6434名の震災被害者の御霊に祈りを捧げる日です。あの日から31年を迎えました。16日には本校でも追悼行事を行います。震災当時、私は福知山市の高校に勤務しており、直接的な被害はありませんでしたが大きな揺れは忘れることができません。早朝の5時46分に起きたマグニチュード7.3の大地震。2階の部屋で寝ていた私は、尋常でない大きな揺れに家が倒壊するのではと本気で恐怖を感じました。その揺れは20秒ほど続いたと思います。すぐに1階に降りて食器棚等を確認しましたが大きな被害はなく、安心したものです。そして、いつも通り7時15分に学校に到着し、すぐに体育教官室のテレビをつけました。当然、どの放送局も地震関連のニュースばかり。阪神高速道路が崩壊している光景には驚かされました。8時半ごろ、JRが運休する等の理由で学校が休校になり、少しラッキーと思っていた自分を恥ずかしく思います。10時ごろには各テレビ局がヘリコプターを飛ばし、上空から被害の様子を生中継し始めました。それでも死者数は300人とか400人の報道でしたが、午後に入り被害の惨状が赤裸々になってきます。死者の数は2000人とか3000人に増え始めました。

大学卒業後、神戸の会社に就職した私は2年間のサラリーマン生活を神戸で過ごしました。自宅は神戸市兵庫区上沢通5丁目。会社は JR 新長田駅近くにありました。2年間の短い期間ではありましたが、慣れ親しんだ町が炎に包まれていく光景にテレビの前で釘づけになり、すぐに会社の元同僚に連絡をしました。しかし、当時は携帯電話も普及していなかった時代で、電話は通じません。ホームセンターで飲料水を購入し、神戸市垂水区舞子にある元同僚のマンションに辿り着いたのは、その2日後でした。被害の少なかった舞子周辺でも、マンションの入口に30cmほど段差ができていました。

あれから31年。キミたちはまだ生まれていない時代の出来事。当然、記憶にはないことですが親や親戚の方々から当時の話を聞いた人もいるでしょう。今、私たちにできることを考え、6434名の震災被害者のご冥福を祈りましょう。今の自分が幸せと感じられない人は、いつになっても幸せを感じる人にはなれない気がします。

死 者	6 4 3 4 名
行方不明者	3 名
負傷者	4 3 7 9 2 名



2. 「私の恩師」 学年主任 森本聡一郎の場合」

「私の恩師」

私は中学3年の12月、生涯の恩師と呼べる教師に出会った。陸上部でさほど強くもない私を勧誘に来てくれたのだ。走ることを通して目標を設定し、努力を積み重ねて結果を出し、自信をつけていく過程の大切さ。そして、人としての生き方を教えてくれたのが米井勝秀先生（元福知山商業高校陸上部監督）だった。先生は30歳まで大阪でサラリーマンをされていたが、当時、低迷していた母校の駅伝を強化するため昭和50年9月から社会科の教諭として教壇に立たれた。口数は少なく、決して多くを語らない。長いミーティングなどは行わず、練習後は「お疲れさん」と一言。先生と生徒の信頼関係、コミュニケーションが大切とされる現代のなか、先生は生徒との間に一線を引いた。

しかし、私たち部員はそんな先生を恐れ、そして尊敬した。なぜなら、1年中練習には最初から最後までグラウンドに立ち、生徒を見守る姿があった。練習が休みになるのはお盆と年末年始に3日ずつ。さらに、先生の自宅には7～8名の生徒が寮生活をし、生徒と寝食を共にした。先生もすごいが、奥さんがもっと偉い。毎朝、生徒の朝食を作りながら弁当を10個ほど作らなければならない。風呂は1つしかないの、生徒が入った後に家族が入るという状態である。すべて生徒が中心。そんな先生や奥さんの姿を見て、私たち部員が頑張らない訳がない。しかし、駅伝では1度も京都府大会で優勝できなかった。2位・3位・2位と洛南や立命館宇治には勝てなかったが、今思えば負けて学ぶことも多くあった。1度も勝てなかったから今の私があるのかもしれない。

私は大学を卒業後、2年間のサラリーマン生活を経験したことで本当に自分の将来や夢を考えた。そして、24歳で非常勤講師として教員をスタートした。

目の前の君たち125名は懸命に「高校生」という時を生きながら、自分の人生を考えようとしている。毎日、目標をもって頑張る君たちに私は伝えたい。

『夢をもって頑張れば、夢は必ず実現する』

私はいつか生徒から「恩師」と呼ばれるのだろうか・・・。



3. 「修学旅行 荷物の事前発送」 1月19日(月)7:30～8:20(JA駐車場)

もう一度、しおりを見て忘れ物がないか、確認しよう。（しおりの42ページ参照）
スーツケースに入れてはいけない物。

- ・モバイルバッテリー
- ・スプレー缶、ハサミ
- ・リチウムイオン電池が外せないヘアアイロン、ヘアブラシ

